

評価の高かった上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	生徒は、学校での役割(委員会活動・学級活動・掃除など)に責任を持って取り組んでいる。	100%	1	先生の授業は、わかりやすい。	94%
1	子どもの学力は、向上している。(学力=①基礎的な知識・技能②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力③主体的に学習に取り組む態度)	100%	1	先生は、努力した点や向上したところを褒めてくれる。	94%
1	子どもの学力や努力は、正しく評価されている。	100%	3	私は、学校のきまり(身だしなみ・持ち物等)を守って生活している。	93%
1	学校は、「いじめ」の早期発見・早期対応、再発防止に努めている。	100%	3	私は、交通ルールを守り、安全に登下校している。	93%
1	特別な支援や配慮が必要なときに、学校や先生に相談できる。	100%	3	私の学力や努力は、正しく評価されている。	93%
1	学校では、地震などの災害が発生した場合の避難場所や避難方法を確認してある。	100%	6	私は、毎日楽しく学校生活を送っている。	92%
1	各種たより(学校・学年・学級・保健・給食)等によって、学校の様子を伝えている。	100%	6	私は、時と場に応じたあいさつや正しい言葉づかいができる。	92%
1	学校は、子どもの事故防止や登下校指導を含め、安全教育に努めている。	100%	6	私は、食後に歯磨きをするなど、むし歯予防に心がけている。	92%
1	学校は、保護者に対して誠意をもって対応している。	100%	6	先生は、私を理解し、指導してくれている。	92%
1	学校は、子どものケガや事故発生に際して、保護者と連絡を取り、適切に対応している。	100%	10	私は、学校(委員会活動・学級活動・掃除など)や家での役割に意欲的に取り組み、その責任を果たしている。	91%

評価の低かった下位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	57%	1	子どもは、読書をする習慣が身についている。	47%
2	学校に設置されている「いじめの相談窓口」を知っている。	76%	2	子どもは、学習の基礎・基本がしっかり身についている。	67%
3	子どもは、毎日朝食を食べている。	87%	3	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	69%
4	子どもは、読書をする習慣が身に付いている。	88%	4	子どもの学力は、向上している。(学力=①基礎的な知識・技能、②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度)	73%

前年度より評価が上昇した上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	子どもは、食べることの大切さを理解し、好き嫌いなく食事ができる。	88% (21%)	1	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	69% (13%)
2	子どもの学力や努力は、正しく評価されている。	100% (17%)	2	子どもの学力は、向上している。(学力=①基礎的な知識・技能、②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度)	73% (7%)
3	子どもは、毎日朝食を食べている。	87% (12%)	3	子どもは、学校のきまり(身だしなみ・持ち物等)を守って生活している。	91% (5%)
4	子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。	94% (10%)	4	子どもは、毎日楽しく学校生活を送っている。	83% (5%)

関係者評価概要
 ・「学習指導」に関する評価が70%とやや低め。前年比3ポイント上昇したが、保護者の学習への関心が高く、学校に対し学力の向上を期待していることが考えられる。特に「読書習慣」(+5ポイント)と「ICT活用」(+13ポイント)と前年よりも増加しているが、低調な割合に留まっている。職員全体に周知し、課題として取り組んでいきたい。
 ・教職員に対する保護者からの見方は大半の項目で前年比プラスポイントになっており、教職員へ肯定的な見方をしている保護者が多い。今後も生徒一人一人に対して、より一層丁寧に対応していく。

学校評価概要(本年度の評価と今後の改善点)
 ・家庭における子どもの読書習慣をどのように身に付けさせられるかが課題の一つである。家庭学習以外の時間が携帯電話の使用時間になっている状況を改善し、より良い生活習慣を指導する必要がある。
 ・今年度は、クロムブックを家庭でも活用できるよう、学級担任や授業担当者で学習内容を工夫し、提示してきたため、保護者の理解が微増した。今後もクロムブックの活用場面を拡大していく。

